

# ハイキング部だより



第179回

平成30年(2018年)9月2日(日)～ 白帆が招く海辺のコース(西宮浜)

コース:香櫨園駅～西宮砲台～御前浜橋～西宮総合処理センター～  
新西宮ヨットハーバー(海辺の道公園)～西宮貝類館～西宮大橋～  
西宮交通公園～宮水発祥の地～西宮神社～阪神西宮駅(約8キロ)

参加者 15名

第179回ハイキングを参加者15名で実施しました。昨日までの雨はあがりましたが、台風が近づいているせいか蒸し暑い天候でした。久しぶりに小学4年生の中間悠人君が参加、最後まで元気よく歩いてくれました。

10時 阪神「香櫨園駅」スタート、夙川の川沿いに桜並木を河口に向かって歩きました。右手に芦屋浜の高層マンション、六甲の山並みを見ながらしばらく歩くと御前浜(香露園浜)に出て西宮砲台跡に到着。西宮砲台は、幕末の頃黒船襲来に備えて築造されたものですが、まもなく明治維新を迎えたため一度も使われることはありませんでした。

御前浜橋を渡った先は、人工島の「西宮マリナパークシティ」です。御前浜橋はワイヤーによって橋の中央部が開閉され船が通るようになっています。阪神淡路大震災によって被害を受けた西宮大橋に代わって造られた仮設橋でしたが現在もそのまま使われています。一日に4回開閉されます。人工島の南側には日本最大級のヨットハーバーがあり、100艘を優に超えるヨットが浮かんでいました。海辺の道公園で昼食をとり、近くの貝類館に入館、珍しい貝が沢山陳列されていました。

その後全長590mのスマートなラインを描く西宮大橋を渡りました。橋の上からは北に六甲、南に瀬戸内海、淡路島、東に葛城・金剛が一望でき、すばらしい眺めのはずでしたが今日は霞んでいて淡路島までは見ることはできませんでした。白鹿などの酒蔵通りを過ぎ、宮水発祥の地に立ち寄り、西宮神社(えべっさん)に参拝したあと阪神西宮駅で解散しました。

















第179ハイキングは下記の計画で実施しました



～ 白帆が招く海辺のコース(西宮浜) ～

日 時： 平成30年9月2日(日) 10時 阪神「香櫨園駅(こうろえん)」集合

コース： 香櫨園駅～西宮砲台～御前浜橋～西宮総合処理センター～  
新西宮ヨットハーバー(海辺の道公園)～西宮貝類館～西宮大橋～  
西宮交通公園～阪神西宮駅(約8キロ)

今回は、潮風を受けて西宮の海辺を歩くコースです。御前浜橋(可動橋、跳ね橋)は、西宮市街と人工島を結ぶ可動橋です。電動ウィンチによって巻き上げられるワイヤによって橋の中央部が観音開きになり開け閉めすることができます。阪神大震災により被害を受けた西宮大橋に代わり生活道路として造られた仮説橋でした。西宮大橋復旧後撤去する予定でしたが周辺住民の要望により御前浜橋として整備され1999年6月正式に開通しました。

橋を渡ると海に浮ぶ人工島「西宮マリナシティ」があり、日本最大級の「新ヨットハーバー」や珍しい貝を収蔵する「貝類館」などがあります。旧西宮砲台跡は、幕末の頃黒船襲来に備えて勝海舟の指導のもとに築造されたもので、完成後に明治維新を迎えたため使われることのないまま残っています。

